

低温に対する農作物の事後対策について

令和5年4月10日
農業技術課

4月10日早朝の低温により、農作物への障害が確認された園では、次の事後対策の徹底をお願いします。

○事後対策

<野菜>

- ・被害の軽微なものは葉面散布等により、樹勢の回復を図る。
- ・薬剤散布により病害防除を徹底する。
- ・被害程度が大きく、回復の見込みのない場合は、まき直しや補植を行う。
- ・スイートコーンの場合、生育時期別の被害程度ごとに影響と対策が異なることから、別紙「早出しスイートコーンの生育ステージ別の事後対策」を参考に事後対策を行う。
- ・スイートコーンは、受粉期以降から収穫前のステージでは雄穂を切除するトップング処理を行うと倒伏軽減効果が得られる。

<茶>

- ・凍霜害を受けた場合は、なるべく早く速効性肥料（硫安10a当たり10kg）を施用する。
- ・被害を受けた茶園では、ハダニ類の被害が多くなるので防除を徹底する。
- ・摘採時に被覆部が混入しないよう生育ステージと被害程度により以下の方法で整せん枝処理を行う。

表 被害後の整せん枝処理

生育ステージ	被害の様相	処 理
萌芽期～2葉開葉未満	被害の程度にかかわらず	そのままにしておく
2葉開葉～4葉開葉	1 部分的で被害部と無被害部がはっきりしている場合	そのままにしておいて、拾い摘みまたは部分摘採を行う
	2 部分的で被害部と無被害部がはっきりしない場合	被害芽率が高い場合 被害部を除く程度に軽く整枝する
	被害芽率が低い場合	そのままにしておく
	3 全面的の場合	被害部を除く程度に軽く整枝する
摘採期直前	1 部分的の場合	拾い摘みまたは部分摘採を行う
	2 全面的の場合	刈捨てて二番茶に期待する

* 被害が甚大な場合、生育ステージにかかわらず、秋（春）整枝面より1cm下で、被害部を除くようにせん枝する。

早出しスイートコーンの生育ステージ別の事後対策

- ・凍霜害の程度別に、下表を参考に対策をとる。

軽度…葉先だけの被害、 中度…葉身全体が被害、 重度…葉身と茎部が被害

生育期別	被害程度	生育・収量に及ぼす影響と対策
5葉期 まで	軽度	生育は数日遅れる。
	中度	生育は数日遅れ、わずかに減収や、先端不稔の発生することがある。
	重度	生育は数日遅れ、わずかに減収し、先端不稔の発生することがある。 生長点が枯死していない場合は、新葉の抽出を妨げないように、枯死部をハサミ等で切断除去する。 トンネル換気を強めにして分げつの発生を促し、葉面積の確保を図る。 枯死個体が発生する場合は、まき直しを行う。
6～9 葉期	軽度	生育が遅れ、茎がやや細くなる。収量はやや減収する。
	中度	生育が遅れ、茎はやや細くなり、先端不稔の発生も多く減収する。 分げつを残して葉面積を確保するとともに、追肥や葉面散布により樹勢回復を図るように管理する。
	重度	生存株は生育が明らかに遅れ、茎が細くなり、倒伏しやすくなる。また、先端不稔の発生も多くなり、減収する。 茎内部が枯死していない場合は、新葉の抽出を妨げないように、枯死部をハサミ等で切断除去して栽培を続ける。 トンネル換気を強めにして分げつの発生を促し、葉面積の確保を図る。 分げつを残して葉面積を確保するとともに、追肥（尿素液肥等：2kg・N/10a）や葉面散布により樹勢回復を図るように管理する。
10葉期 以降	軽度	生育が遅れ、先端不稔の発生も多くなり減収する。 かん水と葉面散布により樹勢回復を図る。
	中度	分げつが少ない場合は、収量品質とも著しく低下する。 分げつが3本以上ある場合には、被害軽減の可能性はある。 かん水と葉面散布で樹勢回復を図り、収量品質の低下を軽減する。

※凍霜害被害は同一ほ場でも程度の異なる株が混在するため、指導者による判断をお願いする。

- ・被害が著しいほ場でまき直し等を行う場合の注意
まき直しや代替作物の作付を行う場合は、ほ場の条件（水田、畑地）や後作の作付け時期等を考慮して決定する。
- ・まき直し等困難な場合の対策
後作が水稻で、まき直しや代替作物への転換が困難な時は、残存肥料の水稻への影響を少なくするため、そのまま栽培を継続する。分げつした茎葉を生育させてできる限り肥料の吸収を促す。